

平成21年度後学期 学生による授業評価アンケート調査（最終）

「アンケート結果に応じて」

| | | | | | |
|---|------------|--------|------|--------|-----|
| 所属部局 | 人文学部 | | 氏名 | 船橋恵子 | |
| 講義コード | 2312007010 | | 講義名 | ケアの社会学 | |
| 開講曜日 | 月曜日 | 3・4 時限 | 専門科目 | | |
| 授業回数 | 15回 | 休講回数 | 1回 | 補講回数 | 1回 |
| | | | | 受講登録者数 | 75人 |
| 成績評価に際し注意した事項 | | | | | |
| <p>毎回の授業で書いてもらったリ spons・カードの評価を50%、期末レポートとして提出された参考文献の書評と小論文の評価を50%とし、学生の地道な努力が成績に反映されるようにした。</p> | | | | | |
| 報告内容 | | | | | |
| <p>数値評価を見ると、本講義は以下の三つの点で比較的高く評価された。</p> <p>①講義の主題の明確さ 「授業の主題が明確」「シラバスの内容が反映されていた」「知識・技術が身についた」</p> <p>②学生と教員とのコミュニケーション 「学生の質問・相談に応じる姿勢」「学生の反応を確かめながら講義」「学生に公平に接していた」</p> <p>③授業の適度な緊張感 「学習の雰囲気・秩序を保つ」「教員の声が聞き取りやすい」「難易度が適切」</p> <p>反対に評価が大変低かったのは、「開始・終了時刻を守る」という点であった。たしかに、交通事情で開始が遅れたこともあり、また終了時刻が昼の時間に10分くらい食い込んでしまったことが何回かあった。学生に対して遅刻に厳しくして、リ spons・カードの採点の減点をしているくらいだから、教師にも厳しく終了時間が求められるのは当然であろう。</p> <p>自由記入を見ると「データやグラフがわかりやすかった」「写真を多用してくれてイメージがわいた」「実体験を話してくれたのが興味深かった」などの点が、よかったようである。やはりパワーポイントの授業は、グラフや写真を見せられて効果的である。今後も続けたい。</p> <p>アメリカの説明のとき、私の「ブラック」という言い方が差別的で不愉快だとの意見がひとつあった。授業中にも説明したし、中間評価へのフィードバックでも述べたことだが、Blackという言葉避けて African American という言い方をすることもあるが、実際にアメリカの公的文書に Black という表現はよく使用されている。留学先の大学で書類を作成する際にも race を記入する欄があり、Black, Hispanic, Asian などと書くようになっていた。統計でも、例えばワシントンDCは人口の6割がブラックと書かれていたりする。黒人社会学者の著書に Black Working Wives というタイトルの本もあった。というわけでブラックという言葉を全く使用しないのは難しいと私は思うのだが、皆さんはどう思いますか。</p> | | | | | |